

# 平成30年度 郡山ヘアメイクカレッジ 学校関係者評価報告書

学校関係者評価報告責任者: 学校長 土屋郁子

## 1. 学校関係者評価委員

- ①菅野 功一 株式会社菅野二郎商店 代表取締役
- ②金山 美弥子 あざみ美容院代表 卒業生
- ③土屋 郁子 郡山ヘアメイクカレッジ 学校長

## 2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 平成30年 11月 26日 本校会議室

第2回委員会 平成31年 3月 25日 本校会議室

## 3. 学校関係者評価委員会報告

### ①学校の教育目標

「専門教育」と「社会的応用力の育成」に加え、これからの時代に必要不可欠であるグローバルスタンダードな観点から「国際化教育」「情報化教育」を深め、幅広い視野と確かな応用力を備えた創造性豊かな人材育成を目標とする。

- 確かな専門技能と応用力を身につけ、美容界で活躍できる人材を育成する。
- 自ら挑戦し、課題を発見し、これを解決する能力を持ったリーダー(けん引者)となる人材を育成する。
- 社会貢献・地域貢献の精神を持ち、幅広い社会性を備えた人材を育成する。

### ②本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

#### 【平成30年度に定めた課題事項】

- 基本となるマナー 返事 あいさつが出来る。
- 学力、技術面における個人差を少しでも無くし全体的なレベルアップ及び意欲的に資格取得をめざす意識づけをする。
- 専門技能と応用力に加え積極性を身に付け、美容業界で望む人材を育成する。
- 教職員のレベルアップとニーズにあわせた授業・カリキュラムの構築。

### (1)教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	4	③	2	1
・学校の理念・目的・育成人材は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	③	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	③	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

#### ①課題

- ・基本となるマナー、返事、挨拶が出来ないことがある
- ・職員間での教育目標・目的は方向づけられているが、授業内容が多く、学生保護者まで充分には周知させる時間が取れていない
- ・社会経済のニーズを踏まえた学校づくり(少子化・高齢化)
- ・学校を卒業後、即戦力となるよう技術、マナー、コミュニケーション能力の指導を心がける
- ・挨拶を自分から声かけしてくる学生が少ない

②今後の改善方策

- ・自分から挨拶や返事をするように職員から率先して挨拶を心がける
- ・保護者に向けての発信方法を考える
- ・ホームルーム活動など学生への意識づけの時間をとる
- ・社会経済にもっと目を向け、情報を取り入れる事を心がける
- ・教職員からの声かけ、授業での声出しの練習

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(2)学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	③	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①課題

- ・仕事過多、余裕がない
- ・業務の効率化
- ・少子化ではあるが、より多くの子供に学校の魅力を伝え生徒を増やす

②今後の改善方策

- ・人材育成(新人教員育成)
- ・互いが声を掛け合いながら仕事をすすめる(PCの共有ファイルのフル活用)

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(3)教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産業連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1

・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修が行われているか	4	③	2	1

①課題

- ・各種資格、修了試験等で、若干取得できない者がいる
- ・成績評価Dランクの者の対応
- ・職員への研修など、業務過多により、ある程度の研修等にしか行かせることが出来ない
- ・関連分野におけるスキルアップ

②今後の改善方策

- ・今以上に放課後の個人指導を強化する
- ・研修費確保、時間を取れるカリキュラムの作成
- ・日々の授業があるため、研修はなかなか難しいので、関連分野の最新情報の収集から始める

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(4)学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	④	3	2	1
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

①課題

- ・資格取得のみでいい、就職意欲の低い学生がいる
- ・一部に目的意識の低下した学生がおり、卒業までに社会人としての意識つけ退学者を防ぐ
- ・卒業後の状況を知ることが難しい

②今後の改善方策

- ・資格を活かす為にも、就職ガイダンスや講話を活用し、個別で話しをするなど仕事への関心を持つ手引きをする

③特記事項

- ・現在、退学者は減少。退学理由についても対策不可者がほとんど
- ・ハガキを送付しても返信が少ない

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

## (5) 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

### ①課題

- ・国家試験不合格者への支援等、連絡を取り行っているが、就職先の地区によっては、なかなか来校することが出来ない
- ・学生の健康管理ではないかもしれないが、AEDは必要ではないか

### ②今後の改善方策

- ・学生のうちに合格させる。連絡を密にして、来てもらえるように話をする

### ③特記事項

- ・特になし

### ④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

## (6) 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	③	2
・学内外の実習施設・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

### ①課題

- ・施設、設備では水道が少ない。ロッカーに教材がおさまらない等の問題はある
- ・入学者が増えたことにより、十分なスペースがとれなくなった

### ②今後の改善方策

- ・ロッカーについては、増設予定
- ・1、2年のカリキュラムの組み方が上手くいけばスペースを確保できる。現在はむずかしい

### ③特記事項

- ・特になし

### ④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

## (7) 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

### ①課題

・特になし

### ②今後の改善方策

・特になし

### ③特記事項

・特になし

### ④学校関係者評価委員コメント

・特になし

## (8) 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2
・予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

### ①課題

・少子化により、中長期的には予断できない

### ②今後の改善方策

・学生確保に努力

### ③特記事項

・特になし

### ④学校関係者評価委員コメント

・特になし

## (9) 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

### ①課題

・特になし

### ②今後の改善方策

・特になし

### ③特記事項

・特になし

### ④学校関係者評価委員コメント

・特になし

## (10) 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2
・学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

### ①課題

- ・今年度は1年生はボランティア活動をする事ができなかった
- ・ボランティア活動の減少

### ②今後の改善方策

- ・積極的にボランティア参加をする(授業予定を考慮しながら)

### ③特記事項

- ・カリキュラム上、活動の場を広げることが難しくなっている

### ④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし